

# かわねほんちょう 議会だより

第55号

令和元年8月発行

発行 / 川根本町議会  
編集 / 議会広報委員会

## 東海4県高校総体カヌー競技 (6月22・23日)



接岨湖カヌー競技場 (川根高校 9レーン)



川根高校主将 選手宣誓

令和元年6月定例会	2~3
第一常任委員会審査報告	4
4人の議員が町政を問う	5~9
大井川用水視察報告	10
要望活動報告 / 町のお茶について	11
町の話 (リサイクル / 奥大井湖上駅)	12
<b>シリーズ</b>	
皆さん、知っていますか?	13
(水川阿弥陀堂 中村藤五郎のこと)	
明日を拓く人たち (ときどん炭焼の会)	14

# 令和元年度一般会計補正予算など 12件を可決(承認)しました。

## 条例の一部改正

### ◎川根本町介護保険条例の一部を改正する条例について

- ・消費税率引き上げに伴い、第一段階から第三段階までの保険料の改正
- ・低所得者の介護保険料の軽減強化

### ◎川根本町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

- ・税の軽減判定所得の引き上げ、課税限度額の引き上げ、資産割の廃止など
- ・賦課方式の変更

※詳しくは、第一常任委員審査報告の6ページをご覧ください。

## その他の議案

### ◎専決処分した事件の承認について(川根本町税条例等の一部を改正する条例について)

- ・平成31年3月29日交付の地方税法の一部を改正する法律等に基づくもの

### ◎公の施設の指定管理者の指定について

- ・川根本町瀬平高齢者デイサービスセンターの指定管理者を、「株くぼた」に指定

### ◎工事請負契約の締結について

- ・令和元年度町単独事業本川根南部簡易水道新小長井配水池新設工事「株神田組」

### ◎工事請負契約の変更契約の締結について

平成30年度準用河川等改修事業、(準)島沢川排水ポンプ設備改修工事請負契約の減額

定例会初日には、一般会計補正予算、特別会計補正予算、条例の一部の改正等8件が上程されました。これらは、定例会2日目(14日)に全員賛成で可決しました。

また「国民健康保険条例の一部改正」に関する議案など追加議案、3件が上程され、第一常任委員会で審査(18日)を行い、最終日(25日)に全員賛成で可決しました。

# 6月定例会の報告

今回の一般会計補正予算は、

**9億2,530万円の増額で  
総額65億7,530万円となります。**

## 主な内容

### ◎一般会計補正予算（第1号） 9億2,530万円の増額

- ・農林水産業費産地パワーアップ事業（県補助金） 8億8,400万円
- ・本川根B & G海洋センター改修工事費 1,744万円
- ・小学校設備修理費など 2,386万円



産地パワーアップ事業関連  
抹茶工場建設予定地（伝統文化伝承館の横）



本川根B & G海洋センター

### ◎後期高齢者医療事業特別会計補正予算 8万円の追加

- ・前年度に納付された保険料を対象者に還付するため

### ◎介護保険事業特別会計補正予算 54万円の追加

- ・低所得者保険料の軽減に関するもの

### ◎いやしの里診療所事業特別会計補正予算 494万円の追加

- ・将来の家庭医療に係る経費、在宅酸素治療供給装置借上げに関するもの



いやしの里診療所

### ◎国民健康保険事業特別会計補正予算 331万円の追加

- ・国民健康保険税条例の一部改正に伴う予算の補正など

# 第1 常任委員会審査報告

審査日 令和元年 6月17日



コーケンくん



ミーホちゃん

(静岡県国民健康保険団体連合会 キャラクター)

## 川根本町国民健康保険 条例の一部を改 正する条例について

日時

6月17日(月曜日)

午前9時開会

会場

役場3階大会議室

内容

国民健康保険法の改正に伴い、町の関連条例を改正するものです。国保運営は、平成30年4月、町単独での運営から、県単位での広域運営体制になり、規模が大きくなることにより、国保制度がより安定的に持続可能な体制となりました。これに合わせた、町条例の改正の審査です。

改正点

- ① 国民健康保険税軽減判定所得の引き上げ
- ② 国民健康保険税課税

③ 国民健康保険税賦課方式の変更  
④ 国民健康保険税率の改正

質疑要点

**問**

賦課方式は、これまで4方式であったが、県の方針で資産割が廃止となるが、その理由、考え方を確認したい。

**答**

かつて国保の被保険者の大半は、自営業や農林水産業者であり、事業用の資産が多く、資産割を課すことで、所得割を補完する役割を果たしてきました。現在は、収益を生まない居住用資産が多いため、低所得者の負担増になっているということから、廃止の流れとなっている。

**問**

町の国民健康保険事業基金の年度末残高は1億3,300万円あるが、今後の基金取り扱い方針はどうか。

**答**

平成26年度より、この広域化を見込んで、広域化されたときに、被保険者の急激な負担増とならないために使う目的で積み立ててきた。これから、この基金は増える要素はないので、今後、医療費の増減、被保険者の減少などを考慮し、被保険者の急激な負担の増加にならないよう、運用していく必要がある。

審査の後、討論はなく、全員賛成で原案どおり可決しました。

第一常任委員会

委員長 石山貴美夫

令和元年度(平成31年度)国民健康保険税税率表

区分		平成30年度 (今までの税率等)	令和元年度 (新しい税率等)	比較
基礎課税分	所得割	4.09%	4.46%	0.37%
	資産割	13.36%	廃止	△13.36%
	均等割	15,800円	15,800円	改正なし
	平等割	16,600円	16,600円	改正なし
	賦課限度額	580,000円	610,000円	30,000円
後期高齢者 支援金等 課税分	所得割	1.92%	2.17%	0.25%
	資産割	6.36%	廃止	△6.36%
	均等割	7,300円	7,300円	改正なし
	平等割	7,500円	7,500円	改正なし
	賦課限度額	190,000円	190,000円	改正なし
介護納付金 課税分 (40~64歳)	所得割	2.05%	2.05%	改正なし
	資産割	7.28%	廃止	△7.28%
	均等割	10,200円	13,500円	3,300円
	平等割	8,100円	廃止	△8,100円
	賦課限度額	160,000円	160,000円	改正なし

# 一般質問

質問の概要を発言順に掲載します

- |       |  |
|-------|--|
| 6 ページ | 山本 信之 議員<br>地域の活性化、川根高校の魅力化は                         |
| 7 ページ | 澤西 省司 議員<br>高齢化を見据えたゴミ集積所の見直し、<br>茶業の側面支援で改善に寄与するために |
| 8 ページ | 野口 直次 議員<br>青部駅周辺地域の利活用計画、地籍調査の現状について                |
| 9 ページ | 石山喜美夫 議員<br>安心して歳を重ねていける町に！<br>「医療・福祉・観光」について        |

4人の議員が町政を問う！  
6月定例会最終日に一般質問を行いました

あの一般質問  
どうなったかやあ～

平成29年6月定例会 質問者：小藪侃一郎 前議員

## Q. サテライトオフィス等、今後の展開や希望像は

A. オフィス進出を促すセミナーを首都圏で開催する計画もある。小中学校でのICT教育や各種IT講座など、雇用に生かされる活動を進め、サテライトオフィスを構える企業との連携による町づくりの形が創造され、地域の問題解決につながっていくと期待している。

### 現 状

毎月開催する会議において首都圏等の会社へ町のPR活動を実施し、また県と連携し、首都圏で開催される各種セミナーにおいても、誘致活動を実施している。

平成29年4月以降、町内に下記のとおりサテライトオフィスが開設されている。

- H29. 4. 23 ゴーホージャパン(株)川根本町オフィス開所 (小長井区)
- H31. 4. 14 (株)Arinos (アリノス) サテライトオフィス設置 (奥泉区)
- R 1. 7. 1 (株)経営参謀サテライトオフィス開設 (千頭東区)

今後は、企業誘致及び移住定住情報を中心としたウェブサイトの立ち上げにより、多くの方を川根本町へ呼び込みたいと考えている。



ゴーホーで働く皆さん

# 一般質問



山本信之 議員

## 問

### 地域活性化、川根高校の魅力化は

## 答

### 行政にも限界がある中で一生懸命支援していきたい

させていただいている。

## 質問

川根高存続に向け、発展に向かわなければならぬ。

## 町長

行政にも限界がある中で、当然ながら今までどおり

活動の指導者を派遣できるように、県に対し

一生懸命支援をしていきたいと考えている。

要望をし、彼が掲げる「川根本町から甲子園」というスローガンを

創設に向けてもがんばっていききたい。

## 質問

平成30年7月、ある青年が町の活性化、川根高の魅力化のために行政を通して東京から移住した。

も、教員以外の人材が専門的に指導に携わる環境が求められている。

勤め、自らその問題をクリアしている。彼は現在、校長とも会えず、練習に参加していない。

高が判断する問題だと考えている。

文部科学省は、平成29年3月に部活動指導員の制度化、学校教育法の一部改正を行った。

よってこの青年は、本町においては大変、貴重な人材である。外部指導者を確保するにあたっての一番のネック

は財源である。部活動だけでは生活していくのが困難なため、指導者の確保が進まないのが現状である。しかし、彼は自分で理解を得られる地元企業を探し、

## 質問

移住をし、町間に対して、「紹介しただけで行政には責任はない」という。この

## 質問

のために来た人間に

対して、町民はどのような姿勢では

それを受けて静岡県でも「部活動ガイドライン」を作成し、「地域との連携、外部指導者の確保が必須」と明記した。

たつての一番のネックは財源である。部活動だけでは生活していくのが困難なため、指導者の確保が進まないのが現状である。しかし、彼は自分で理解を得られる地元企業を探し、

も大きな責任があると思う。町長はじめ、行政はこのような状況をどのように考えているのか、伺う。

より、県並びに川根

## 質問

これまで町と

対応可能な範囲の中で関

国や県の流れとして

が現状である。しかし、彼は自分で理解を得られる地元企業を探し、

## 町長

私自身は、町が関わるとい

## 教育総務課長

しては、対応可



県立川根高校 校舎

# 問

## 茶園は隣接山林に強い影響を受けている

# 答

## 森林環境譲与税で里山林事業を計画した



澤西省司 議員

○高齢化を見据えた

### ゴミ集積所の見直し

雨天時に資源集積所があるが、状況を伺う。

### 町長

ゴミ集積所の問題は、町民の協力が重要で、高齢者のゴミ出しなどは、利用者間の相互扶助なしではうまくいかないと考えている。

### 環境課長

屋根付きの物置などにはしたい、濡れるから困りたいなどという場合、環境衛生対策促進事業費補助金がありますので、ご活用して対応をして頂きたいと思っています。補助額は事業費の3分の2以内で30万円が上

限となつています。

### 質問

ゴミ集積所を向井地区にも欲しいと、地区のお百姓たちは、言っているが。

### 環境課長

地域内で十分に協議の上、役場

### 質問

発泡スチロールの回収場所が無い地区が多数有り、対策を急ぐべきでは。

### 環境課長

旧中川根で無い地区が多いことは承知している。全ての集積所に回収場所をもうけるわけにはいかないが、地区の申し出があれば、状況を検討してトレイ回収用の

ネットの配布を考えております。

### 質問

茶業を側面支援で改善に寄与するために

### 町長

茶農家は隣接する山林の影響を強く受けており、落下する杉の葉や枝は高齢者には厄介なものとなつている。山林の成長に伴う日陰による生育不良は農家の努力だけでは、限界にきている。

### 環境課長

山林の伐採は原則所有者において

願います。山林の伐採は原則所有者においてありますが、森林環境譲与税を財源とした里山林事業を今年度計画しております。

### 農林

里山林事業については、各地区長様に業要望書を通

知してありますので、活用して森林整備を進めて頂きたいと思つて



山林日陰で育生不良が発生

ますが、狩猟の場所としていいかどうか確認しながら、猟友会の皆様との話の中で、そのような猟の提案があつたということを報告させていただきます。

### 質問

碾茶生産に切り替える茶園とのルールづくりを茶業振興事業において、どのように主導するのか。

### 農林

普通栽培の茶園とは一定の距離があるが、防除作業において調整が必要と考える、今後農協、県等の栽培指導機関と協力し、新たな仕組み作りが必要と考える。

### 質問

共同茶工場の手立ては。

### 農林

異業種の方がらの応援とのことだが、クリアしなければならぬ問題もある。シルバー人材センターに登録されている方も考えられます。

### 農林

防壁を狩猟のために利用することは可能かと思

う。シカが茶園を踏み荒らす、猟友会を側面から支援する案として、急傾斜地に建設した防護壁の、人が出入りする隙間でネットなどを使い人工的に獣道を作れば、畑に入るシカをくくり罠で捕獲できるのでは。

# 一般質問



野口直次 議員

## 問

青部駅周辺の今後土地利用のスケジュールは

## 答

造成後公共施設の選択と、民間投資の活用を検討

1 青部駅周辺地域の  
土地利用計画に  
ついて

### 質問

今後の土地利用のスケジュールについて伺う。

### 町長

現在の埋め土部分と国道との接続、及び県による河川護岸工事等により、土地の造成が可能になっていく。具体的な利活用に必要な施設の選択、民間企業の進出

の為、町がどのような推進方法を図ればよいか調査研究中です。完成までには期間が必要と考えている。

### 質問

アイデア募集は何件あったか。

### 企画課長

町内外から38名の方、青部地区の23世帯からも頂いた。

### 質問

内容について伺う。  
トイレ、駐車場の公共施設、

### 企画課長

トイレ、駐車場の公共施設、

自然を生かした町民や観光客が集まる交流施設、地場産品販売、民間活用施設等の提案を頂いた。

### 質問

募集後の土地利用活用委員会においての検討内容を伺う。

### 企画課長

第3回は結果報告と委員から

### 質問

近隣市町との連携の必要性や課題についての指摘もあった。第4回は町として民間投資に

### 企画課長

第3回は結果報告と委員から



造成地護岸工事予定地

2 地籍調査の現状について

### 質問

調査作業の進捗状況を伺う。

### 町長

元藤川地区は平成17年度完了、水川地区は16年度より開始、町とは別に県森連が山地の地籍調査も実施している。進捗率は全体計画の約8%である。

### 建設課長

水川地区調査面積の2.35km<sup>2</sup>の内1.42km<sup>2</sup>が完了していない。住民の方に測量に基づき作成した図面の確認をしていただけではない状況であり、現在は調査を完了させるために各工程の確認をしているところである。

### 質問

国交省地籍調査のサイトの実施状況によると、平成30年度当町は休止と記載されていた。どのようなことか伺う。

### 建設課長

水川地区の再調査業務を行っ



完了地域の地籍杭

ている。水川地区の認証を得ることが最優先すべきで新たな地区の調査を中止、今後水川地区の住民の方の協力、理解を頂き進めていく。

### 質問

今後のスケジュールを調査対象者に示すことはできないか。

### 建設課長

本年度より建設課に地籍専任職員を一名配置。多くの時間と手間を要する作業であるが、全力で再調査に取り組む。調整が必要な事項も多い。準備ができ次第、地域の皆様へお伝えしていきたいと考えている。



## 最適な医療のあり方を慎重に検討。 観光は湖上駅受賞を活かしたい。



石山貴美夫 議員

○本川根診療所は休診に。その対応策は？

**質問**

安心して年を重ねる為の土台

は、医療と福祉の充実。本川根診療所は5月末休診となり、患者は苦慮していないか、医師の招致活動は、進んでいるか。これからの医療の体制をどう考えるか。

**町長**

できるかぎり早く医師の確保に努め、将来、当町に最適な医療体制のあり方を慎重に検討していきたい。

**質問**

患者の状況は先生との情報交換は重要だが。

他の医院等に引き継がれている。情報交換は、要望

**健康福祉課長**

聞き取り等、随時、機会を設けている。

聞き取り等、随時、機会を設けている。

**質問**

いやしの里診療所が、旧本川

根地区唯一の医療施設となった。患者が急増し、医師や患者に過剰な負担となっていないか。また、待合室・駐車場等施設のキャパに問題は出ていないか。

**健康福祉課長**

先生は、看護師等人手不足を訴えておられるが。

**健康福祉課長**

一時的患者増は認識している。状況をみて対応を検討している。厳しいが努力していく。医師派遣は県総から「これ以上は」といわれているが、さまざまにチャンネルで医師確保に努めたい。

先生は、看護師等人手不足を訴えておられるが。

**健康福祉課長**

一時的患者増は認識している。状況をみて対応を検討している。厳しいが努力していく。医師派遣は県総から「これ以上は」といわれているが、さまざまにチャンネルで医師確保に努めたい。

**質問**

清水先生ご提案の、町にふさわしい先進的医療体制づくりについてどう考えるか。

**健康福祉課長**

いやしの里は平成24年から遠隔診療を開始、30年度から在宅診療タブレット端末を試行的に導入。それぞれの医師と調整検討していきたい。

**質問**

訪問看護ステーションと医師との連携、スピーディな情報共有、訪問診療・緊急時往診対応状況はいかがか。

**高齢者福祉課長**

先生個々のやり方にあわせ、さまざまに連携を図っている。訪問診療は2

先生は、看護師等人手不足を訴えておられるが。

**健康福祉課長**

一時的患者増は認識している。状況をみて対応を検討している。厳しいが努力していく。医師派遣は県総から「これ以上は」といわれているが、さまざまにチャンネルで医師確保に努めたい。

対応。今後も一層の連携を図っていきたい。

**質問**

島田市民病院の改築状況と、

本町との連携はどうか。新島田市民病院は令和3年3月開院予定。30科の診療科、屋上ヘリポートも備える予定。救急時等にも重要な病院であり、引き続き連携を図る。

**青年部**

新築の伝統文化伝承館周辺の整備は

**質問**

伝承館活用状況と、大型工場も隣接されるが周辺整備の考え方は。

**町長**

赤石太鼓練習等に活用されている。地域の祭りは住民の心のよりどころ、活性化の源、伝統文化を絶やさず、伝承者を養成し、交流会等活性化の拠点としたい。

赤石太鼓練習等に活用されている。地域の祭りは住民の心のよりどころ、活性化の源、伝統文化を絶やさず、伝承者を養成し、交流会等活性化の拠点としたい。

**農林**

計画中の抹茶加工工場側より、「伝承館へ十分配慮し、運営に影響ない設計をしたい」と聴いている。

**観光**

湖上駅付近は携帯不通話区域で、今後通信関係と協議していく。多言語化の整備は、大鐵と連携して対応したい。観光協会局長は、6月末より全国公募する。

○湖上駅トイレ改善と、夢の吊橋下堆積対策

**質問**

外国人が選んだクールジャパンアワード2019を

湖上駅が受賞、国内外から観光客急増が予想されるが、対応は。またトイレ対策は。夢の吊り橋下の堆積土砂の対策は。

**町長**

受賞を活かし、受け入れ態勢充実を図りたい。夢の吊り橋下の堆積は、中電水力センターから、人為的除去は非現実的、ダムの排水操作で景観回復を図りたいと回答を得ている。観光協会は体制づくりを重点として、局長・職員公募を進めていると、聴いている。

**観光**

湖上駅付近は携帯不通話区域で、今後通信関係と協議していく。多言語化の整備は、大鐵と連携して対応したい。観光協会局長は、6月末より全国公募する。

**観光**

湖上駅付近は携帯不通話区域で、今後通信関係と協議していく。多言語化の整備は、大鐵と連携して対応したい。観光協会局長は、6月末より全国公募する。

大井川用水を視察し、「大井川の水」について理解を深めました。

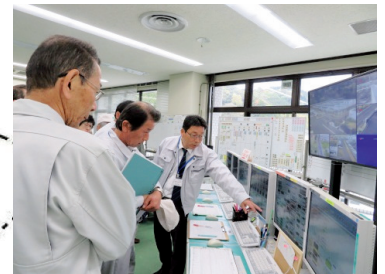
平成31年  
4月17日(水)

長島ダムで取水した水は中部電力発電所、送水管を  
経由したのち、川口にてふたたび取水され、広域  
水道、農業用水、工業用水として東は藤枝・焼津、  
西は掛川・袋井まで送られ、利用されています。



相賀浄水場

島田、焼津、掛川、藤枝など7市に供給され、約60万人の飲み水となっている。



管理室 浄水場はここで管理されている。



大井川用水概略図



細島小水力発電施設

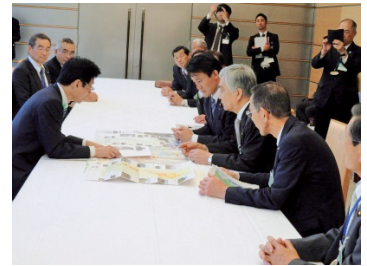
大井川用水路を利用した「細島小水力発電施設」。他にも、伊太に発電所があります。

# 政府要望活動報告

4月18日、昨年に引き続き、井林たつりの衆議院議員に同行頂き、首相官邸、財務省など関係省庁へ要望活動を行いました。

## 国土交通省

- ・高郷上長尾線（上長尾バイパス）への支援
- ・国道362号富士城バイパス早期完成
- ・長島ダムの有効活用、洪水調整機能の確保など



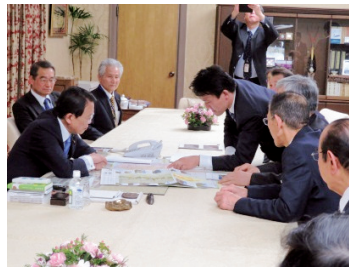
首相官邸

## 農林水産省

- ・民有林直轄治山事業の推進、予算確保
- ・千頭国有林の管理強化と観光資源の創出

## 環境省

- ・川根本町内の国立公園指定区域の拡張
- ・管理事務所の設置



財務省



国土交通省

最近、町内の茶園で  
てんちゃ  
碾茶生産のための被覆栽培が  
増えています。

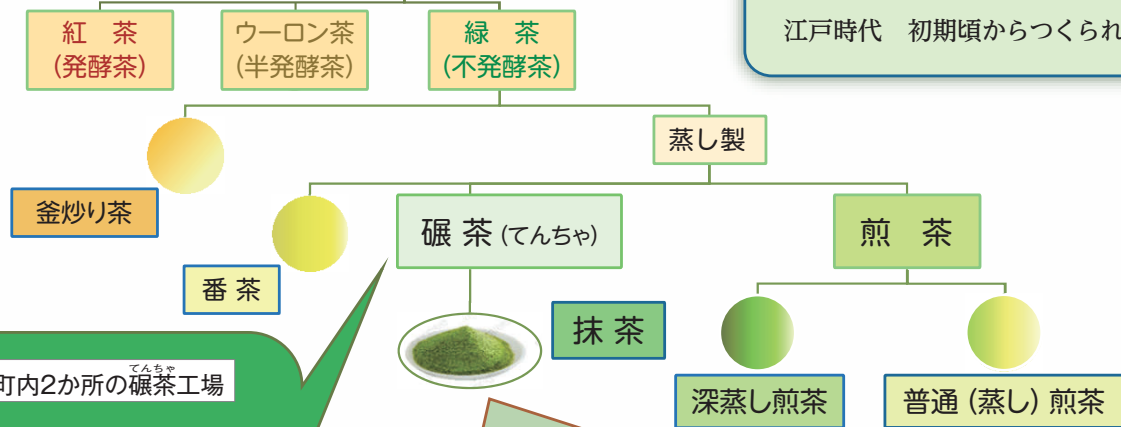
## 川根本町のお茶について



同じ茶葉からいろいろなお茶ができます。

高級煎茶の代名詞「川根茶」

江戸時代 初期頃からつくられる



町内2か所の碾茶工場

- 農事組合法人わらやま  
2018年操業開始
- KAWANE 抹茶(株)  
川根本町工場  
2019年操業開始

### “抹茶工場（有機抹茶の仕上加工場）がこの町にできる”

静岡オーガニック抹茶(株) (略称SOMA)は、県から「産地パワーアップ事業」の補助金8億8千4百万円を受けて、抹茶工場を民有地と町有地（青部下澤間、伝統文化伝承館「時愛」隣地）の合わせて6,529㎡に建設予定。

## Q&A

- 碾茶とは？ 茶園を遮光材で覆い、日光をさえぎって育てたお茶（被覆栽培）を、揉まずに乾燥させて、茎や葉脈などを除いて細片にした抹茶の原料。
- “抹茶”と、“緑茶パウダー”のちがいは？ 抹茶は、碾茶を石臼あるいは微粉砕機で挽いたもの。緑茶パウダーは、煎茶を微粉末状に加工したもの。



SOMA完成予想図

Shizuoka Organic Matcha Alliance  
Kawanabe Processing Hub

# 町のさりげない情報

## トピックス



### 中央小PTA資源リサイクル活動



中央小学校では、年間2回のリサイクル活動を行っています。

4年生になって「ごみの行方」や「リサイクルの意義」を学びます。リサイクル活動は4年生以上の児童が参加して、親子で汗を流す貴重な体験の場となっています。



6月16日 (日曜)

親子・教職員  
みんなで全力



### 和のゴールデンウィーク



雨上がりの湖上駅  
クールジャパンアワード受賞

連日多くの観光客の皆様を訪れていただき町も新茶・観光・里帰りと活気づきました。



湖上駅をパチリ

# 皆さん、知っていますか？

## 《水川地区》 水川阿弥陀堂 中村藤五郎のこと



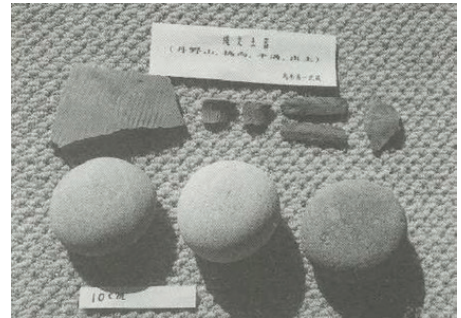
水川・尾呂久保地区には、約250人が住み、世帯数は約100です。

「茶名館」「緑のたまてばこ」「ウッドハウスおろくぼ」の観光施設、食料品店、神社、愛宕地藏尊などがあり、地区住民が協力して生活しています。

### \* 「水川」集落は、いつ頃できたの？

- (1) 出土している土器の破片や石器等から、「縄文時代」と思われる。
- (2) 出土の場所は、平溝、橋向、丹野山である。
- (3) 地区には、水川川を含め、7つの沢がある。  
他地区と比べ、沢が多いことから、「水川」という地名になったのではないだろうか。

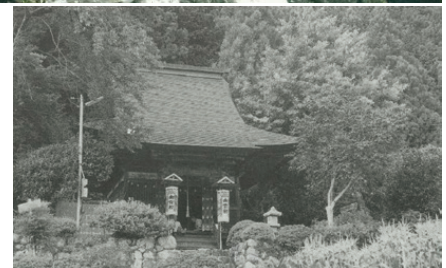
☆「縄文時代」……約12000年前から約2500年前まで



丹野山、橋向、平溝より出土

### \* 「お堂さん」と呼ばれ、親しまれている建て物は、何でしょう？

- (1) 「水川阿弥陀堂」である。創建時は、「観音堂」であり、約500年前の足利時代（1536年）である。
- (2) 創建には、智満寺住職と初代「中村藤五郎」が中心となった。現在の春野町犬居から、移ってきた武将と言われる。
- (3) 江戸末期（1838年）に、水川村名主の中村藤五郎等により再建する。藤五郎は、近郊近在の茶・椎茸を扱う豪商であった。



阿弥陀堂



阿弥陀如来立像

- (4) 再建時、江戸の茶商、山本嘉兵衛（現山本山）から、譲り受けた「阿弥陀如来像」が、現在、本尊として祀られている。
- (5) 昭和31年・平成6年に、屋根等の修復工事がなされた。
- (6) 再建時の棟札によると、大工は黒川喜右エ門（今の抜里か）、彫刻は才助（今の春野町）、絵師は、村松以弘（掛川藩のお抱え絵師）である。
- (7) 阿弥陀堂天井には「龍」「四季の花」、壁画には「天女」「蓮華」「松」「鶴」「梅」の図が描かれている。
- (8) 毎年、7月23日、2月11日に、例祭が行われる。
- (9) 阿弥陀堂、天井絵等は、「町指定文化財」となっている。



天女

# 川根本町の明日を拓く人たち

今回は、徳山区民有志で活動している「ときどん炭焼の会」の紹介です。  
17年前から、本格的に炭焼きを開始し、現在に至っています。

## 地域に貢献する炭焼き活動をめざして

ときどん炭焼の会 会長 山下 忠之

大井川鐵道駿河徳山駅から徒歩3分のところに「徳山自然観察公園・ときどんの池」があります。ときどんの池は、荒廃した水田跡地を「住民が集う憩いの場」にしようと、平成12年に徳山区役員、住民有志によって4年の歳月をかけ造り上げました。

この公園の一角に炭焼き小屋があります。ときどんの池を浄化するための炭を焼こうとしたのが発端で、17年前に有志で炭窯を造り、炭を焼き、毎年100kg～200kgの炭を入れ、ときどんの池の水の浄化に取り組んでいます。

これが「ときどん炭焼の会」の出発点であり、数年前までは第一小学校の課外授業として、児童たちの炭焼き体験にも活用されました。

現在70歳前後の会員9名で活動していますが、当初からの会員は1名のみとなりました。毎年11月下旬～翌年3月まで年末年始の3週間を除き、毎週日曜日に炭焼き活動をしています。炭材の樫の木調達に苦勞していますが、1年間の炭需要が800kg程あり、樫炭10kg 3,000円で販売しています。

尚、活動目的の一つに、非常災害用の炭の備蓄があり、常時1,500kg～2,000kgの備蓄をしています。

ときどん炭焼の会事務局：根岸英一



### ◆ 9月定例会の予定 ◆

9月3日 火	9:00～	本会議 (定例会・初日)
	本会議終了後	全員協議会
9月12日 木	9:00～	本会議 (定例会・2日目)
	本会議終了後	全員協議会
9月27日 金	9:00～	本会議 (定例会・最終日)

- 本会議場は役場本庁3階です。
- 日時は変更することもありますので、詳しくは議会議務局(56-2229)までお問い合わせください。

議会はどなたでも傍聴できます。  
ぜひ傍聴におでかけください。

### 編集後記

今回は、議会活動報告として大井川用水視察の様子を掲載しました。

下流域の大勢の方々、大井川の水が生活、工業、農業用水など、幅広く利用されていることを、ぜひ知っていただきたいと思えます。また、水源地の住民として、大井川の保全、恵みをもたらす山などの管理も大切なことだと思います。

この号が発行される頃は、まだまだ夏の真っ盛り、体調管理には十分気を付けて、暑い夏を乗り切りましょう。  
(坂本政司)

#### (議会広報委員会)

委員長 野口 直次  
副委員長 坂本 政司  
委員 杉山 広充  
澤西 省司  
中原 緑